

新年にあたって

(社)船橋薬剤師会会長 武石 弘道

あけましておめでとうございます。2005年の新春を迎えるにあたり、会員皆様方にお喜びを申し上げるとともに、旧年中に賜りました当薬剤師会への格別なご支援・ご協力に心より厚く御礼申し上げます。昨年は史上類のない多くの台風上陸、そして今なお復興途上であります中越の地震災害、また外国では大津波災害と、一日も早くの復興を願わずにはおられません。今年こそは平和な一年でありますよう心に念じております。おかげさまをもちまして当薬剤師会はさらに加速度をつけて力強く成長してまいりました。種々の課題については役員が議論を尽くし検討に検討を重ねてまいりました。永年の検討事項の一つである船橋の夜急診に参画できたのも大きな進展でした。このような動きには大きな波に乗りそこで問題点が出ればそこに修正を加えて最善の結果が出るよう計ってまいります。これまで一部の皆様にご迷惑をおかけした面もあったかもしれませんが、情報の提供が思うようにできず誠に申し訳ございませんでした。この責任は私の避けて通れぬものであります。その過程においてご説明が十分でなかったり戸惑いや不安な思いを抱かせたことがあったかもしれませんが、新体制を作り直してまいりますのでご容赦いただきますとともに今後の展開にぜひご期待いただきたいと存じます。以上のことから、どうか当薬剤師会にこれまで以上のご支援・ご協力をぜひに賜りますようお願い申し上げます。併せて会員皆様のご多幸とご健勝をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

船橋薬業会会長 岡村 慶一

皆様あけましておめでとうございます。平素は当会に際し多大なご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年総会にて決議されました情報誌をここに新年号として配布することになり会員先生方との絆を強くし、広く活動する薬剤師としての地位向上に邁進したいと思います。今後ともよろしくご鞭撻ください。結びに、皆様にとって希望に満ちた幸多き一年となりますように心からお祈り申し上げます。

役員紹介

(平成16・17年度)

- (社)船橋薬剤師会 —
- ・ 会長 武石 弘道
 - ・ 副会長 土居 純一 (保険)
 - ・ " 高橋 眞生 (情報)
 - ・ " 水谷 迪夫 (学術)
 - ・ 会計 北村 莊一 (薬剤師会)
 - ・ " 栗城 孝則 (薬業会)
 - ・ 理事 榆木 匡子 (企画)
 - ・ " 柳田 知良 (分業)
 - ・ " 村瀬喜与子 (介護)
 - ・ " 木村 憲 (学業)
 - ・ " 真木 貞行 (広報)
 - ・ " 岡村 慶一 (総務)
 - ・ 監事 真下 晃
 - ・ " 吉村 葉
 - ・ 相談役 高橋 高
 - ・ " 小山 征治

- 船橋薬業会 —
- ・ 会長 岡村 慶一
 - ・ 副会長 吉成 昌高 (総務)
 - ・ " 柴田 暁宏 (開設)
 - ・ 会計 北村 莊一 (薬剤師会)
 - ・ " 栗城 孝則 (薬業会)
 - ・ 理事 柴田 暁宏 (経済流通)
 - ・ " 市原 容子 (薬業婦人)
 - ・ 監事 真下 晃
 - ・ " 吉村 葉
 - ・ 相談役 武石 弘道

《お知らせ》

平成17年4月1日から医療用具販売業及び賃貸業の制度が変わります。一部の医療用具の販売、賃貸及び授与を行うには許可が必要になります。これらの許可に係る事前申請の受付が行われています。

- ・ 法律上の名称がこれまでの「医療用具」から「医療機器」に変わります。
- ・ 取り扱う医療機器によって「許可が必要」「届出が必要」「届出不要」の3つに分類されます。

詳しくは千葉県薬務課 (Tel:043-223-2614) までお問い合わせください。

電話 047 (424) 2330

Fax 047 (424) 5700

ホームページもご覧ください。
<http://www.funabashi-yaku.or.jp/>

学薬より 学薬委員長 木村 憲

昨年は学校保健法の改正で検査の内容が更に高度多様化し、項目が増えました。また学校数に合う学校薬剤師を確保する上で、新たに10名の方に学校薬剤師として参加していただくことになりました。

昨年12月12日に50数名の出席で船橋グランドホテルにて講習会を開き、全般における検査業務の確認を行いました。また、その後に意見交換のための懇親会を持ち、学校薬剤師同士の交流ができました。来年度は4月より60数名の新体制が始まりますが、今年度は2月に空気検査(各校)と空気総合環境検査及び騒音環境検査(一部)を行う予定です。

空気検査には二酸化窒素も新たに加わり、今後我々学校薬剤師の業務は更に多岐に渡るようです。

薬剤師は薬の専門家ですが、学校薬剤師には子供の環境を守る上での様々な知識が求められます。

薬物乱用、喫煙、ドーピング等にも学校現場から薬剤師の指導・助言が必要となっておりますので、学校薬剤師の方々の益々の活躍を期待いたします。

学薬委員会(学校薬剤師会)ではこれからも担当薬剤師の方々に情報や意見の交換の場、講習会を開催して行く予定です。

＝いよいよ2月1日から始まります＝

医薬品・医療廃棄物回収事業について

船橋薬剤師会では、平成17年2月1日より使用済みの注射針や不要なお薬の回収を行います。

これまで、飲み残したりして不要となった医薬品は、ご家庭のゴミとして処分されたり、使用済みの注射針などは医療機関で回収していましたが、不要な薬の誤飲事故や、誤って家庭ゴミとして出された注射針で針刺し事故が起こる危険があり、これらの医療廃棄物を、市民が安心して安全に廃棄できる窓口が求められていました。

当薬剤師会では、薬や使用済み注射針などの医療廃棄物の無料回収事業を会員の薬局・薬店のご協力の下に開始する運びとなりました。この試みは、川崎市・横浜市に続き全国で3番目の取り組みとなります。1月7日に船橋市役所内で記者会見を行い、翌日の朝刊(読売・朝日・産経・千葉日報)で紹介されました。現在、約150店の薬局・薬店に名乗りを上げていただいております。

- ・店頭には、目印のお薬回収店のステッカーを掲示してください。
- ・回収する対象は、家庭で不要となった医薬品・使用済みとなった注射針や容器などです。
- ・回収する薬や針等は、中身の見える不要なビンや袋に入れて「お薬回収シール」を貼って持参していただいでください。
- ・「お薬回収シール」は、希望者に無料で配布してください。
- ・回収ボックス・ステッカー・回収シールは、薬剤師会事務局に1月中旬に取りに来てください。

＝船橋薬剤師会、夜急診に参画＝

昨年11月に市及び船橋医師会から要請があり、急遽当会の船橋市夜間急病診療所(以下、夜急診)への参加が12月25日(土)より始まりしました。12月23日に説明会を行って30名の方に登録していただき、無事スタートすることができました。

当会では「夜急診委員会」を設置し、委員長は柳田理事が分業委員長と兼務します。なお、土居副会長が担当副会長として、船橋市や医師会との折衝に当たります。

要請の根底には、小児の母親からの「薬剤師からお薬をもらいたい」という強い要望があったとのことです。調剤技術・情報提供などに対する薬の専門家である薬剤師への市民の信頼や期待の高まりが背景にあるようです。また、年末年始に薬剤師が参加したところ、医師・看護師・事務からも「本来の仕事に専念できるようになった」と好評を得ているそうです。

- ・薬剤師が入る日は、毎週土日・祝日、及び年末年始です。
 - ・時間は、18時～21時の「前準夜」(小児科のみ診療)です。
- これから参加していただける会員の方は事務局までご連絡ください。

長い休眠の後、今年度より復活した広報委員会として船薬の活動を会員の皆様にお知らせしていきたいと思っております。年4回(季刊)の予定です。会員の皆様からも、載せてほしい記事・情報などありましたら、事務局までお寄せください。

発行：船橋薬剤師会 編集：広報委員会(真木貞行・森下睦夫)